



学校の雰囲気がよい＝学力の向上？

校長 長谷川 敦

昨年からのことであるが、来校者の皆さんからは、「生徒さんの挨拶がいいですね～」「登下校もしっかりとヘルメットをかぶっていますね～」「授業は真剣に受けていますね～」というような生徒へのおほめの言葉をいただくことが多くあります。しかし、これは大部分の、あるいは多くの生徒がそのように気を付けていたり、先生の指導を受けて応えていたりすることにより、そのように見えることであると考えています。確かに授業中にそっちのけで机に突っ伏してぐっすりという生徒や、逆に授業の進行を妨げるような行動をしている生徒はほとんど見かけなくなりました。雰囲氣的にはおそらく数年前とは比べられないほど良くなってきていると思います。

では、この雰囲気の中で学校での勉強を続けていけば生徒の学力は上がるのかといえば、必ずしもそうともいえないところがあると思います。それは、授業に参加しているような顔で実は参加していない生徒、授業中に「死んだ目」をしている生徒がいることです。自分の興味のあること（例えば部活動など）には「生き生きとした目」をしているのに、授業では全く逆という生徒もいます。そのような場合に先生に起こされたり、注意を受けたりすることは当然のことです。



中学校では学習指導要領で9教科、その他に道徳、総合的な学習の時間、特別活動の時間が授業として設定されています。誰もが、これらすべてに得意な人というのはいないでしょう。少なくとも苦手な教科がある生徒が大部分だと思います。苦手教科があることはある意味当然のことです。それは、人によって興味・関心が異なるからです。むしろ、興味・関心がどこにあるのかを探すために、学校ではこれだけたくさんの教科やその他の授業をしているのだと思います。

では、「自分の興味・関心がもう決まっていて、将来目指すことも決まっているから自分はこの教科だけを一生懸命やればいい」というのはどうでしょうか。これは中学校のうちは、感心しません。なぜなら、その将来目指すこと（職業）が単に1教科の勉強だけで成り立っているということは絶対ないからです。むしろ、教科の授業だけではない、その他の活動が将来の役に立つということも多いと思います。

京ヶ瀬中学校の教師は、いかに生徒に学力を身に付けさせられるのかを常に考えていますし、そのための研修もおこなっています。授業でしっかりと基礎・基本を身に付けたり、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたいとさまざまな方法で授業に取り組んでいます。しかし、学校の授業だけでは十分といえないので、終学活の後にさらに10分（京中タイム）かけて、家庭学習の計画を立てる時間を設定しています。この時間の効果が表われて、家庭学習が充実してくれることを願っています。

京ヶ瀬中学校の普段の目標とする1日の家庭学習時間は1年生が60分、2年生が90分、3年生が120分です。この夏休みは学校での学習時間がなくなる分、是非家庭学習を充実させてください。

京中生、大健闘！下越地区中学校総合体育大会の結果

陸上競技部

陸上競技 (男子)

男子 100m	4位		(11.69)
男子 110mH	4位		(15.98)
男子走高跳	4位		(1m60)
男子砲丸投	7位		(8m54)
男子円盤投	4位		(27m57)
男子四種競技	8位		(1507点)

陸上競技 (女子)

女子 100m	2位		(12.90)
	4位		(13.27)
女子 200m	2位		(26.57)
女子走幅跳	1位		(5m33)
	7位		(4m39)
女子 4×100mR	1位		(53.30)

バスケットボール部男子

[1日目]	1回戦	対 五泉中	70-46	勝ち
	2回戦	対 五泉北中	63-45	勝ち
[2日目]	準決勝	対 岩船中	48-44	勝ち
	決勝	対 本丸中	40-54	惜敗

準優勝 県大会出場権獲得

バスケットボール部女子

[1日目]	1回戦	対 本丸中	28-24	勝ち
	2回戦	対 五泉中	26-30	惜敗

柔道部

男子〔団体戦〕	1回戦	対 猿橋中	4-1	勝ち
	2回戦	対 山北中	2-2	惜敗
敗者復活戦				
	1回戦	対 佐々木中	4-0	勝ち
	2回戦	対 新発田東中	2-3	惜敗

〔個人戦〕	55kg級	3位		(県大会へ)
		5位		
	60kg級	3位		(県大会へ)
	73kg級	5位		

女子〔団体戦〕	1回戦	対 新発田東中	3-0	勝ち
	準決勝	対 新発田第一中	2-1	勝ち
	決勝	対 中条中	1-2	惜敗
	準優勝	県大会出場権獲得		

〔個人戦〕	40kg級	2位		(県大会へ)
	45kg級	1位		(県大会へ)
	48kg級	5位		
	52kg級	2位		(県大会へ)
		7位		
	57kg級	3位		(県大会へ)
	63kg級	7位		(県大会へ)

水泳

オープン参加のため記録のみ
100m背泳ぎ、200m背泳ぎ出場
100m平泳ぎ出場
(県大会出場権獲得)

7月9日(木) 通信陸上競技大会

男子走高跳	6位	
女子 100m	5位	
女子 200m	5位	
女子走幅跳	3位	

*走り幅跳び(樋口)で北信越大会出場権獲得

5月～6月上旬の二市北蒲大会に続き、今月は、下越大会などの上位大会が目白押しでした。京中生の気迫(勢い)や頑張りはとどまることなく、大会での大健闘が報告されています。勝ち・負けの勝敗だけでなく、その中にある試合内容や熱戦の模様をぜひぜひご想像ください。

*なお今後、県大会(7月24～25日)、北信越大会(8月4日～)、全国大会(8月17日～)が行われる予定です。

紹介！今月の京ヶ瀬中学校



今年も京中の玄関に、**でかい七夕飾りが登場**しました。みんなの願いは”いじめ0”、”全員笑顔”、”優愛志誠”、”Go to the next!”



9月5日開催の**秋桜祭の軍団抽選会**が盛大に行われ、赤軍は(3-1, 2-1, 1-1)、青軍は(3-2, 2-2, 1-2)で構成されることになりました。

13日の**体育祭結団式**では、秋桜祭スローガン「**咲きほこれ秋桜、太陽と蒼空の下つかみとれ 最高の絆と笑顔の花**」が発表され、体育祭に向かって全校生徒みんな動き出しました！



七夕に願いを込めて

教頭 渡邊 正人

7月の声を聞くと同時に、全校生徒一人一人の願い事が書かれた七夕が校内に飾られました。何日も前から生徒会本部の生徒を中心に準備が進められてきたのですが、飾り付け当日のことです、朝から生徒会長や副会長が全校分の短冊を手に、1枚1枚丁寧に笹の葉に取り付けていました。しばらく見ていると、登校してくる生徒たちが、その短冊を少しずつ分けてもらい、一緒に取り付ける姿がありました。さらに、その周りには、そうした作業をしている仲間を温かい眼差しと笑顔で見守る生徒たちの姿もあり、たちまち笹の葉の周辺は生徒でいっぱいになりました。

季節を感じることができ、全校が楽しみにしている活動を毎回計画してくれる生徒会本部の生徒たちの頑張りに頭が下がる思いであると同時に、その活動をみんなで支え、お互いの良さを分かり合おうとする全校の生徒たちの「空気」も素晴らしいと思えた一場面でした。この目に見えない京中の「空気」こそが、校歌の歌詞にあるような「楽しい、楽しい、京ヶ瀬中学校」を創り出しているのだと改めて感じる事ができました。

Go to the next

～みんなで築き・伝えていこう 京中魂～

生徒指導主事 齋藤 佑

7月から重点期が変わりました。

秋桜祭期 「力を集結！秋桜祭」

- ・全校生徒で秋桜祭を成功させよう
- ・1 学期の反省をし、充実した夏休みになるよう生活設計を立てよう
- ・健康と安全に留意し、充実した生活を送ろう
- ・生活にけじめをつけ、学習・行事に意欲的に取り組もう

7月の生徒の様子について

良かったこと

- ・激励会・秋桜祭連合結団式も今までにない盛り上がりを見せました。生徒たちがいつも最高のものを作り上げていきたいという意欲が活動を通して見られました。
- ・学校農園で栽培されたジャガイモ。7月13日の給食で豚汁として給食に登場しました。
- ・京ヶ瀬中フラワーロードのひまわりがきれいにさいています。毎朝夕、有志で水やりをしています。本当に頭がさがります。

残念だったこと

- ・あめやガムの包み紙が教室や廊下で何回か見つかりました。(全体指導済み・継続指導中)
- ・自転車通学生でノーヘルメットで下校していたこと、一時停止をしないで交差点を横切ったことがありました。(指導済み)
のどが痛いのでのど飴を登下校中に舐めていたと申し出てくれた生徒もいました。学校の登下校中の飲食は認めていません。のど飴もあめの部類として扱っています。
ご家庭でもご指導よろしくをお願いします。

生徒一人一人が笑顔輝く1学期でした

このページの表題は、今年度生徒会が掲げたスローガンです。このスローガンを胸に、全校生徒が自分たちの手で「学校を次の段階へ！」という強い気持ちを持ち、諸活動に取り組んだ1学期でした。

落ち着いた雰囲気ですべる学習環境

毎朝8時15分から始まる朝読書。全校生徒が静かに朝読書に取り組むことができました。1日の始まりとして良いスタートが切れ、学習活動も落ち着いた雰囲気の中で進めることができました。

「学校・地域を大切に」マナーを守る姿、貢献する姿

今年度も昨年度に引き続き、マナーが守れる人として行動できることを大切にしています。

学校・地域に貢献していこうとする姿勢で、生徒会本部を中心にいろいろな活動を行ってきました。「ゴミ拾いボランティア」「服装全校いいねプロジェクト(生活委員会)」「朝の校内清掃活動(柔道部)」をはじめ、生徒自らの手で地域に愛される学校づくり、人づくりを目指した活動を今年度も生徒が主体となって実施しています。「地道にコツコツと行う活動」は必ずなにか閉塞的だったものに風穴を開け、明るいものが見えるようになります。毎日続けてきたことが地域の皆様からお褒めの言葉をいただけるようになりました。そして子どもたちも自分たちの活動が自分たちを変えてきたことに自信を持ちさらなる活動へとつなげています。

他者を思いやる温かい人間関係づくり

今年度も「温かい人間関係づくり」を生徒指導の年間重点指導事項としております。1学期は「かわり合う楽しさ」「お互いを認め合うことの素晴らしさ」を中心に諸活動につなげました。「全校綱引き大会」「小中合同ハイタッチ挨拶運動」「七夕飾りつけ」「全校鬼ごっこ」など全校生徒が主体となってみんなで同じ活動を行うことにより連帯感が生まれました。

目的意識をもち有意義な夏休みを!

1学期の自分を振り返り、自分に足りなかったことを補う、目標を達成させようと努力する夏休みにしてもらいたいと思います。「今の自分を変えるのは自分の行動次第!」夏休み明け、成長した姿になって登校し、事故なく、有意義な夏休みとなるように祈っています。

保護者の皆様へ

早いもので1学期が終了いたしました。学校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。地域に愛され・誇れる京ヶ瀬中学校にするために我々職員一丸となって子どもたちと向き合っていきます。

さて、35日間の夏休みに入ります。1日の大半を家庭で過ごすこととなります。先日の懇談会で配布いたしました夏休みの過ごし方をご覧ください、お子様の有意義な夏休み生活につながるようご指導をよろしくお願いいたします。

特に、スマートフォンや携帯電話、インターネットを介して他者とつながる事ができる媒体が多数存在しております。特にlineというアプリを利用したトラブルや交際関係が広域に広がってしまいトラブルに巻き込まれてしまうという問題が全国的に発生しています。これらを未然に防ぐためには、大人が子どもに正しいモラル、価値観を教える必要があります。インターネットに潜む危険性をご理解の上、お子様とネット使用、携帯電話利用等に関するルールを決めていただきたいと思います。子どもたちが2学期以降も充実した学校生活を送れるようご協力をお願いします。